

見どころ案内

7/21 (土) ~ 8/30 (日)

サマーフェア

7/22 (日) シダ植物観察会

7/22 (日) 食虫植物実演会

ヒメトラノオ (ゴマノハグサ科)

日本固有種で茎の上部に穂状の花序をつけ、青紫の小さい花を沢山つけます。マツムシソウも咲いています。

アジサイ・アスペラ

(アジサイ科)

中国原産の白花種。他品種に比べて葉が細くすっきりとした印象。花つきが良く、長期間楽しめます。

展示会のご案内

◇展示温室

夏のカラフルリーフ展 (6/20~7/16)

世界の食虫植物展 (7/21~8/19)

◇展示資料館 (6/17~7/25)

私の好きな花たちの写真展

熱帯
スイレン
温室
休館中

シクンシ

(シクンシ科)

熱帯アジア原産のつる植物。甘い香りのある花は、咲き始めは白色で、その後ピンク~赤色へと変化します。

オウコチョウ (マメ科)

西インド諸島原産。黄花と橙花の株が揃って咲いています。

ハリツギ・ミナヅキ

(アジサイ科)

日本原産でピラミッドアジサイとも呼ばれています。花が全部クリーム色の装飾花となっていますので、豪華です。咲き初めです。

タチアオイ (アオイ科)

日本には古くから薬用として渡来し、花が綺麗な為様々な園芸品種が作られています。梅雨入りの頃に咲き始め、梅雨明けの頃に咲き終わることから“ツユアオイ”の別名もあります。

通行止め
(ツバキ園~レストラン)

スズランノキ (ツツジ科)

北アメリカ産の落葉高木。白いスズランに似た花が咲いています。秋の紅葉も美しく、三大紅葉樹の一つです。

アメリカノウゼンカズラ

(ノウゼンカズラ科)

北アメリカ原産で暑い夏にトランペット状のオレンジ色の花が咲き続けます。隣りにはサッコウフジもありますが、こちらは咲くまではもう少しかかりますが、咲くとオレンジと紫の対比を楽しむことができます。

ニンジンボク

セイヨウニンジンボク (シソ科)

7月頃からすみれ色の花をつけます。生育旺盛で育てやすい樹木です。開花期も長く、穂状の花序をつけ、芳香を持ちます。

